

(様式2)

議員行政視察報告書

議員名	杉山 允孝
視察地	高知市 高知医療センター
視察年月日	令和7年1月15日
視察内容（目的・具体的内容・成果等）	
病院の経営強化等に関する取組について	
高知医療センターの前身は高知県立中央病院と高知市立市民病院です。しかし、県民、市民の医療に対するニーズが多様化・高度化する中で、両病院はともに施設の老朽化、狭隘化が著しく、十分な診療機能の発揮が困難となり、この問題を解決するため、高知市池に両病院を統合整備することにより、スケールメリットを生かして機能の充実を図り、医療資源を効率的に活用し住民に高度医療を提供することとし、平成17年に高知県・高知市病院企業団立高知医療センターとして開院しました。しかし、4・5年経っても業績が上がらなく、調査の結果原因は平成14年にPFI事業契約した企業だと判明。平成22年3月にその企業とPFI事業の契約を解約し、やっと業績が上がり現在に至っている。医療を取り巻く状況や社会の変化に応じて、地域包括ケアシステムの構築、医師・看護師等の働き方改革、施設・設備の最適化、経営の効率化等に取り組み、経営課題を着実に解決しており、市立病院の経営強化について大いに参考になると感じた。	

(様式2)

議員行政視察報告書

議 員 名	杉山 允孝
視 察 地	松山市
視察年月日	令和7年1月16日
視察内容（目的・具体的内容・成果等）	
切れ目のない全世代型防災教育について 万人防災士への歩み 当時全国で初めて防災士資格取得費用を全額公費負担。 ・産官学民が連携した「全世代型防災教育」を推進。 ・防災士養成講座に毎年市民400名、大学生200名が受講 松山市は阪神淡路大震災を契機に自主防災組織の結成を促し、平成24年には市内41地区全てで組織されるとともに、地域で活動する防災士の資格取得を助成。地域防災力の向上に努めております。 平成17年から防災士を増やす運動をはじめ、その年は237名、平成20年558名、平成30年5,273名、令和元年6,047名、令和5年9,526名、今年中には10,000人を超えると見込まれます。 旭川市はどの位いるのか調査したところ、登録者は2百数十人との事。災害の少ない旭川かもしれないが、あまりの少なさにショックを受けました。資格取得費用の全額公費負担等による防災士の育成、地域住民の防災意識の向上、産官学民の連携等の取り組みについては旭川市も参考にすべきだと感じました。	

(様式2)

議員行政視察報告書

議 員 名	杉山 允孝
視 察 地	横浜市
視察年月日	令和7年1月17日
視察内容（目的・具体的内容・成果等）	
里親制度について 里親制度とは、諸事情により家庭での養育が困難又は受けられなくなった子どもたちに、暖かい愛情と正しい理解を持った家庭環境の下での養育を提供する制度です。家庭での生活を通じて子どもが成長する上で極めて重要な特定の大人との愛着関係の下で養育することにより、子どもの健全な育成を図る有意義な制度です。 横浜市では平成27年度には「養育里親」について広く市民の理解を得るために、里親制度と「親」や「養子縁組」との違いを明確にし、親しみやすくわかりやすい養育里親の愛称について一般公募を実施しました。公募の結果「よこはまサポートファミリー」の愛称に決定し、より里親制度が身近なものになるよう愛称を活用していきます。 里親の種類 ・養 育 里 親 児童が自立できるようになる、あるいは家庭に戻れるようになるまでの一定期間、保護者に代わり児童を養育する里親のこと。 ・専 門 里 親 虐待などにより心身に影響を受けている児童や非行・障害のある児童を2年以内の期間を定めて養育する里親のことをいいます。 ・養子縁組里親 養子縁組を前提として児童を養育する里親 ・親 族 里 親 両親など子どもを養育する人が死亡・行方不明などになった場合に、子どもを養育する親族のことをいいます。 横浜市は専門性を有する里親を育成するための各種支援を行い、フォスターリング機関の導入等の先進的な取り組みを実施しており、旭川市も参考にすべきだと感じました。	